※令和４年度以降入学生用

学校番号	101

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	論理国語	単位数	２単位 (4 単位中 2 単位)	年次	２年次
使用教科書	論理国語（大修館書店）						
副教材等	現代文　解法のテクニック１　三訂版（啓隆社） 重要頻出漢字リアルマスター3300（尚文出版） デジタル版　カラー版新国語便覧（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・現代を考える上で押さえておきたい、多様なテーマの教材を読み比べます。多角的な視野を養い、自己の意識を広げていきましょう。
・教材と関連した「問い」を通して、目的をもって「読む」教材と向き合いましょう。さらに「書く」活動に取り組むことで「読む」教材で学んだことを自己の表現にもつなげます。

2　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。

(2) 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めて言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	【第Ⅰ部】 1　世界・言葉・私 ［教材］ 世界を広げる「批評」の言葉	a:・文や文章を効果的に組み立てたり接続したりするしかたについて理解を深めている。 ・筆者の主張とその前提や反証などについて理解を深めている。 b[読]:・内容や構成、論理の展開をふまえながら要旨を把握している。 ・主張を支える根拠や結論を導く論拠をとらえるとともに、批判的に検討している。 ・文章の内容を人間、社会、自然などのテーマに結びつけて自分の考えを深めている。 c:・進んで筆者の主張とその根拠や論拠をとらえようとするとともに、内容に関して自らの考えをもち伝えようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート	観察 ワークシート
	2　芸術と文化 ［教材］ ミロのヴィーナス	a:・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感　を磨き語彙を豊かにしている。言葉の意味内容をあらためて考え、認識や思考と言葉との関係を理解している。 b[読]:・文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ　、論点を明確にしながら要旨を把握している。 ・文章の構成や論理の展開、表現のしかたについて、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。 c:・学習課題に沿って、本文中の比喩表現に注意しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート	観察 ワークシート
	3　共同体のいま ［教材］ 家族化するペット	a:・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[読]:・文章の種類をふまえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確にとらえている。 ・人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけて、新たな観点から自分の考えを深めている。 c:・学習課題に沿って、統計資料と本文との関係に注目しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート	観察 ワークシート
	4　科学の可能性 ［教材］ 自己をモデル化する知能	a:・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。言葉の意味内容をあらためて考え、認識や思考と言葉との関係を理解している。 b[読]:・主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート	観察 ワークシート

※令和４年度以降入学生用

		・人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけて、新たな観点から自分の考えを深めている。 c:・学習課題に沿って、論理の展開に注目しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。			
二学期	5　日本語の多様性 ［教材］ 「方言コスプレ」現象	a:・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[読・書]:・関連する文章や資料をもとに、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。 ・設定した題材に関連する複数の文章や資料をもとに、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりしている。 ・実社会や学術的な学習の基礎に関する事柄について、書き手の立場や論点などのさまざまな観点から情報を収集、整理して、目的や意図に応じた適切な題材を決めている。 c:・学習課題に沿って、方言に関する具体例に注目しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート	観察 ワークシート
	6　思考の枠組み ［教材］ スキーマと記憶 デジタル地図から見える世界	a:・本文において主張に当たる情報とそれを裏づける情報とを明確に区別している。 ・対比を示す語句、接続表現に注目しながら文章を読み、対比関係や論理展開をとらえる助けとしている。 b[読]:・本文の構成における具体例の役割について的確に理解している。 ・対比の関係に注目し、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握している。 c:　・本文の内容に興味をもち、意欲的に学習活動に取り組もうとしている。 ・デジタル地図についての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、対比の関係をとらえようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート	観察 ワークシート
三学期	7　社会の原点 ［教材］ 分かち合う社会	a:・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。言葉の意味内容をあらためて考え、認識や思考と言葉との関係を理解している。 b[読・書]:・主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。 ・人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけて、新たな観点から自分の考えを深めている。 ・文章の構成や展開、表現のしかたなどについて、自分の主張が的確に伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などをふまえて、自分の文章の特長や課題をとらえ直したりしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート	観察 ワークシート

※令和４年度以降入学生用

		c:・学習課題に沿って、学説の引用に注目しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。			
	８ グローバル化の先へ ［教材］ 心に「海」を持って	a:・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[読・書]:・人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけて、新たな観点から自分の考えを深めている。 ・実社会や学術的な学習の基礎に関する事柄について、書き手の立場や論点などのさまざまな観点から情報を収集、整理して、目的や意図に応じた適切な題材を決めている。 c:・学習課題に沿って、文章全体の構成に注目しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート	観察 ワークシート

４　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（０）時間

・書くこと　…　（３０）時間

・読むこと　…　（４０）時間